

何が、問題か!? 横浜の課題

新任期開始にあたり、改めてこれからの横浜の課題は何か考えました。結論として**最大の課題は、少子高齢化をどう乗り切るかに尽きる**と考えます。

本市の予測推計では、現在、374万人の人口は、本年を境に、減少に転じていくと見込んでいます。それに反比例するかのごとく現在の約25%の高齢化率は、20年後には約33%に高まる、つまり3人に1人が高齢者という社会状況を迎えると予測されています。

働き手が少なくなる中で、公共サービス提供のコストをどうまかなうか。各種公共施設、学校、道路、公園、橋などの公共建築物全体の維持や保全をどう行うか。介護や医療その他の高齢化社会で求められる施策の実現や充実はどうはかるか。一方で、負担を増やすことをせず、いかに働く世代(現役世代)が働きやすく、子育てや親の介護のしやすい地域を作っていくか。また、様々なハンデキャップを負う人たちや社会的支援を必要とする人への目配せを忘れず、置き去りにせず、必要とされる施策を実施していくか。**大変難しい時を迎えている**と考えます。

私は、今までのような**“あれもやります、これもやりますの政治”**、**“行政サービスを拡大する話ばかりで、その負担を誰がするのか語らない政治”**は、**変えていかなければいけない**と強く感じています。**費用対効果や具体的な成果を検証することもなく、予算を注ぎ込みさえすれば、経済が活性化し住民福祉が向上するという旧来の政治のあり方、発想は、変わらなければいけない**と考えています。

以上のことを強く思っていますので、この3期目4年間は、なお一層、どの議員よりも予算の優先順位化を重視し、無駄な事業の実施をチェックしていきます。

私は、**政治の最大の役割は、市民の生活や生命を守ること**と考えていますので、上述の制約をしっかりと意識した上で、防災・減災対策などの、市民の暮らしや命を守ることに繋がる施策や事業の実施には、これまでになく注力していきます。あわせて横浜の経済の活性化を図れるよう、人を呼び込める施策の実施なども当局に提言していきます。

これからの4年間で特に力を入れていくこと

1. 予算の優先順位化

2. 防災・減災対策の推進

- ・災害時医療の充実、地域防災拠点の機能強化
- ・災害時ゴミの処理・対応計画の確立
- ・大地震や火山災害や豪雨などの大規模災害への備え充実

3. 人を呼び込む施策立案・事業実施

区政開始25周年を迎える 我が街・都筑をさらに 暮らしやすく賑わいのある街に!!

都筑区は、ご存じの通り**令和元年11月に区政開始から満25年**を迎えます。港北ニュータウン計画開始から考えれば、約50年の時が経過しました。先人の知恵と努力の中で都筑区が誕生し、発展してきました。市会議員として横浜市全体の成長発展に努めることは当然ですが、区選出議員として、少子高齢化が進む中でも今がピークではなく、我が街・都筑がなお一層、暮らしやすく賑わいがあり、まさに**“住み続けたい街・都筑”**であるよう、**地域の声を運び、必要な事業の推進に向かって、区民の皆さまと共に前に進んでいきます。**

皆さまの声をお寄せください

区選出議員は、区長以下の幹部職員が集まる**“区づくり推進会議”**という区政に関する報告を受け、意見交換や協議をする正式な場に出席します。加えて市長に対する予算要望書の提出なども含め、様々な機会を通じて、区政推進に関する意見を区に対して伝えます。

何かお気になることや伝えるべきことがあれば、皆さまの声をお寄せください。

望月が、区づくり推進会議や議会の場で区政に関して実施を求めていること

具体例

- ・都筑の特長である緑道や歩道あるいは、車道も含めた街づくりの維持・管理について。
今後も良さを失わず維持していくために、予算確保も含め、どう取り組んでいくのか考えを明確化すること。
- ・区民文化センターの建設にあわせた周辺地区の交通動線の利便性向上、賑わいと暮らしやすさを両立した地区作り。

- ・市営地下鉄ブルーラインのあざみ野駅からの延伸を見据えた都筑の街づくりについて。
区民の声をお聞きしながら、市街化・市街化調整区域の区分や用途地域の変更も含めた、賑わいのある街づくりのための将来計画の作成。
- ・市営地下鉄川和町駅周辺の再開発に合わせた、横浜上麻生線の交通の利便性向上と安全確保。

市政報告会〔タウンミーティング〕や 気軽に語る会にお越しく下さい!

望月が、議員活動を進める上で特に大切にしていることは、市民の皆さまとの相互やり取りです。まさに**“皆さまの声は、活動の羅針盤”**です。その実践として、定例会終了毎に市政報告会〔タウンミーティング〕を実施しています。

開催告知は、駅頭などで案内ビラを配布したり、HP上で行います。ご連絡先住所が分かる方には、郵送での案内も行っています。ぜひ一度、ご参加ください。

また事前申し込みを頂いた上で、事務所や皆さまのご自宅などをお借りして、数名からの市政や地域の街づくりについて語る会〔意見交換する会〕も実施しています。何か望月にお尋ねになりたいことや気になる地域の課題がございましたら、気軽にお声かけをお願いします。



▲新任期初定例会後、さっそく市政報告会開催

ラジオ番組に初出演しました。

ラジオ日本 清水勝利のこれでいいのニッポン!! Part2
～5月11日(土)9時～9時30分に10分ほど出演。～
人の誘致による賑わい作り、経済活性化を提言しました。

1 家庭弁当中心から中学校給食へシフト

望月の考える中学校給食とは、

- ・家庭弁当を持っていかなくても、昼食は大丈夫。栄養価を考えた、食材費相当の保護者負担で済む昼食。
- ・学校や地域の実情に応じて、できる学校や地域から。方式は、一律にこだわらない。

2 カジノに頼らない、みなとみらい(臨海部)の賑わい作り推進

カジノは、不要。カジノ着手を市長が表明すれば、反対します!

“みんなの声の広場”をお読みいただき、ありがとうございます。当レポートは定例会毎に年4回作成し、新聞折り込みや駅頭配布、ポスティングなどでお配りしています。送り届け先のご氏名とご住所を事務所までご連絡くだされば、郵送にてお送りいたします。